



西小林中学校だより

平成27年度 7月号
平成27年 7月21日発行
文責：校長 吉牟田 浩一

■楽しかった修学旅行！■

6月30日（火）から7月3日（金）まで、本校の2年生が3泊4日の修学旅行に行きました。

1日目は、学校をバスで出発して、熊本港からフェリーで島原港に渡り、雲仙岳災害記念館を見学しました。予定していたペーロン体験は雨のために中止となりました。そのあと、長崎原爆資料館の見学をして、被爆体験をされた方の講話を聞きました。



2日目は、まず、平和公園に行き記念撮影をしました。そして、実行委員会を中心に平和セレモニーを行い、世界の平和を全員で祈りました。そのあとは、長崎市内で班別自主研修を行いました。班長を中心に、班員で協力しながら長崎市内を巡り、チェックポイントの出島で記念撮影をして、ゴールのオランダ物産館に全員無事に到着しました。その後は、バスで佐賀県に移動して、有田焼のお店で絵付け体験を行いました。



3日目は、まず、福岡市の防災センターに行き、消火体験や地震体験、風圧体験などの防災学習を行いました。そのあと、福岡市内での班別自主研修を行いました。ゴールは福岡市博物館でしたが、歴史の授業で学習した「金印」を食い入るように見ていました。そのあと、バスで太宰府天満宮に移動し、記念撮影や高校入試合格を祈って参拝しました。また、九州国立博物館を見学しましたが、その大きさにびっくりしていました。



最終日は、三井グリーンランドに行きました。最初に、男子はメリーゴーランドに。また、女子は、立ち乗りコースター「風神雷神」に乗りました。そのあとは、それぞれ約4時間思う存分遊んでいました。しかし、帰り際にも、まだまだ遊び足りないような顔が見られました。



この修学旅行で、生徒たちを見ていて素晴らしいと思ったことがいくつかありました。一つめは、集合時間に誰一人遅れなかったということです。常に時間より早く集合が完了していました。二つめは、食事のマナーや片付けなどが素晴らしかったということです。三つめは、ホテルの方や一般の宿泊客の方にも、きちんとあいさつをする生徒の姿が見られたということです。そのほか、班長や部屋長、バスの中でのゲームを企画した学習係の生徒たちも、それぞれの立場でみんなのために、一生懸命頑張ってくれました。

この修学旅行で学んだことを、今後の学校生活に活かして欲しいと思います。

○規律の大切さを学んだ集団宿泊訓練！○

7月1日（水）・2日（木）、1年生が御池青少年自然の家において、1泊2日の集団宿泊訓練を行いました。2日間で様々な体験活動を行い、学ぶ事も多かったようです。施設のテーマでもある「規律 協同 友愛 奉仕」を意識しました。また、今回の学習で、特に「時間を守る、聞く姿勢、空気を読む」という具体的な行動目標も立てました。

これからの学校生活の中でも、学んだ事を活かしてさらに成長して欲しいと思います。



★学びの多かった福祉施設訪問★

7月2日（木）、3年生は地域にある「和」、「あったか村」、「生駒の杜」、「ひまわり荘」、えびの市の「ほうよう」などの福祉施設を訪問しました。施設では、掃除や食事の準備などのほか、生徒たちが考えたゲームなどを行い、高齢者の方とふれ合いました。これまで、認知症サポーター養成講座や福祉体験学習で学んできましたが、実際やってみると、戸惑うことも多く、慣れない仕事で疲れたようでした。しかし、高齢者の方や身体の不自由な方にどのように接したらよいか、施設の方の姿を見て学んだことも多かったようです。



地域の方からたくさんのことを学ばせていただきました。今後、地域のために力を発揮する人、地域に貢献する人に成長して欲しいと思います。

◇カツオ料理に舌鼓！家庭教育学級◇

7月4日（土）の家庭教育学級では、県漁連の方をお招きして、生徒も一緒に「かつお料理講習会」を実施しました。かつおの1本釣り体験、1班ごとに1匹のカツオをさばき、「カツオのたたきやカツオのカツ、カツオめし」などの調理実習を行い、そのあとは、みんなで試食をするなど、とても充実した1日となりました。また参加者も40名を超えて、とても賑やかな家庭教育学級となりました。



